

# NZ・クライストチャーチ レポート

<http://www.ccc.govt.nz/>

2013年7月発行・その12

この時期ニュージーランド(以降 NZ)は冬シーズン真っ盛りで、クライストチャーチ(以降 CHC)近郊の山や高原の湖等では、スキーやスケートを楽しめる季節となりました。でも東海岸から広がっている広大なカンタベリー平野は、毎年冬でも数回程度の雪しか降らないようです。

こんな中、CHC 中心部にダメージを与えた2011年の2回の大きな地震から2年以上が過ぎ、漸く新しいCHC 都市再建計画の準備がされて来ています。地震後に残った立ち入り出来ない建物等の撤去作業もこの6月末でほぼ終了し、都市部には建物跡地の更地が広がって来ています。

また、これからが歴史的建造物の再建作業や新しい施設等の建設となって行きますが、地震前の姿に



今年3月末頃の  
クライストチャーチ大聖堂解体現場  
復元するかは未決定



大聖堂の東裏 Madras St. に  
坂茂氏設計で建設中の  
クライストチャーチ仮設大聖堂

CHC を戻すことは無いようです。  
再建計画では緑地を主体にした都市再  
開発で、商業施設ビルも統合されるよう  
で、勿論耐震性を重視され作られます。  
CHC 町中心部には美しい小川(エイボン  
川)の清流が蛇行して流れ、この周辺

にオフィスビルを含め、花と緑に包まれた公園やガーデニングをして  
いる英国風の家が多く立ち並んでいましたが、地震によって大規模な  
液状化現象が発生し、多くの建物の土台はダメージを受け、建物の  
使用や居住が出来なくなり、順次取り壊し等がまだされています。

現在でもこんな状況ですので、CHC 市内観光は相変わらず1日程度  
で終わってしまっているようです。

勿論市内観光だけが目的で無く、CHC に長期滞在をして CHC 周辺  
を散策したり、ゴルフ等を楽しむ方々には特に問題はありません。

砂地ベースの町中心部土地の改良を含め、暫定処置はありますが  
CHC 大聖堂再建、町中心部の建物や施設再建や新設等、今後は  
全体的に地震にも対処出来る町づくりを目指しています。

しかし、まだまだ都市再建完了までには4、5年は掛る計画です。

NZは本当に素晴らしいのですが、常夏のインドネシアにも是非お越し  
ください。マリン・スポーツが満喫できる**ギリ・メノ**に一度はお越し  
ください & **Casablanca** 。

<http://www.h2.dion.ne.jp/~gilimeno/>

**Casablanca** のお問い合わせは、

shimaint@r4.dion.ne.jp へ



右側が仮設大聖堂、道路を挟んで  
左側が地震で日本人留学生が  
多数亡くなったCTVビル跡地



4月時点では未だ修復中で  
立ち入り出来ないアートセンター



地震でもダメージが少なく  
すぐにオープン出来たホタニック・ガーデン  
に隣接するカンタベリー博物館入口